

主な出来事

【内政】

- 査証制度改正：CEMAC国籍者への査証免除他

【外政】

- ボンゴ大統領と中国病院船「和平方舟：l' Arche de la paix」海軍准将との会談
- モロッコ外相によるガボン訪問
- ECCAS臨時閣僚会合の開催
- ボンゴ大統領によるチャド大統領特使との会談

【経済】

- 中国 CC01C 副会長によるガボン訪問
- ガボン政府によるガソリン・軽油価格の値上げ
- 2018年政府予算案の提出・採択
- ガボン国債の格付け「B」（フィッチ・レーティングス）

【内政】

1 駐ガボンEU代表部による憲法裁判所との協議

6日、駐ガボンEU代表部は、EU大統領選挙監視団の勧告に基づき、憲法裁判所関係者との間で、選挙プロセスにおける憲法裁判所の役割について協議したほか、今後の選挙の透明性の強化について意見交換を行った。（7日付GR、10日付UN）

2 前労働・雇用大臣のCLR脱退

次期総選挙を見据えて与党「ガボン民主党（PDG）」への入党を表明しているンゾンド前労働・雇用大臣は、「自由な改革者のための中道党（CLR）」の脱退を正式に表明した。（9日付UN）

3 水・エネルギー大臣によるDN入党

7日、内閣改造により「国民連合（UN）」から除籍処分を受けたエヨゴ・エザング水・エネルギー大臣は、「新民主主義（DN）」への入党を発表した。（9日付UN）

4 ACRによる政治集会の開催

7日、ブルーノ・ベン・ムーバンバ前副首相が率いる「変化・再建への同盟（ACR）」は政治集会を開催し、新たな政策ビジョンを説明し、ボンゴ大統領との協力を強調した。（9日付UN）

5 査証制度改正：CEMAC国籍者への査証免除他

中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）加盟国内の自由通行に関する2005年の議定書に基づき、CEMAC加盟国（カメルーン、中央アフリカ、コンゴ（共）、赤道ギニア、チャド）国籍者にはガボン入国査証の免除が決定された。また、外国からの直接投資促進

のため、G20及びGCC諸国国籍者に対して特例措置がとられ、対象者は、ガボン入国時に査証を取得することが可能となる。(21日付UN)

6 RPG代表の辞任

30日、ムバ・アベソレ「ガボンのための結集党(RPG)」代表は、第7回党大会において同党代表職の辞任を発表した。(31日付UN)

【外政】

1 ガボン・EU関係

3日、メソネ外相、マッサール国防相、マタ内務相はEU諸国大使と2回目となる協議を実施し、両者は政治対話に係る進捗状況等について意見交換を行った。ガボン・EU関係の協議を目的に全4回の協議が予定されている。(3日付GR)

2 ボンゴ大統領と中国病院船「I' Arche de la paix」海軍准将との会談

4日、ボンゴ大統領は中国病院船「I' Arche de la paix」の海軍准将と会談した。約1週間、オウエンド港において600名の医師・看護師によってガボン住民数百名に対して無償の医療サービスが供与される。(6日付UN)

3 ボンゴ大統領と USAIDS ガボン代表との会談

5日、ボンゴ大統領は、Ndayishimiye 国連合同エイズ計画(UNAIDS)ガボン代表と会談し、ガボンにおけるHIV・エイズ対策について協議した。同代表は、ガボンのHIV・エイズ患者に対する治療支援率95%は、中部アフリカ地域の30%に比べて極めて高く、エイズ撲滅に向けてガボン・USAIDSの技術協力を強化する旨発言した。(6日付UN)

4 モロッコ外相によるガボン訪問

20日、ボンゴ大統領はガボン訪問中のブリタ・モロッコ外相と会談し、二国間協力、農業、保健、住宅、職業訓練、国際情勢等について意見交換を行った。(21日付UN)

5 ECCAS臨時閣僚会合の開催

20日から21日にかけて、リーブルビルにおいて中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)臨時閣僚会合が開催され、中ア情勢について、武装グループ間の対立悪化について懸念が表明されたほか、DDRの推進、平和の定着が呼びかけられた。(23日付UN)

6 ボンゴ大統領によるチャド大統領特使との会談

21日、ボンゴ大統領はデビー大統領の特使であるシルク・チャド農業大臣と会談し、31日にンジャメナで開催されるCEMAC臨時首脳会議について協議した。(23日付UN)

7 ボンゴ大統領のロンドン訪問

25日、ボンゴ大統領はチャールズ皇太子、ポルマン・ユニリーバCEOの招待を受けて、ロンドンにて開催された持続的な発展及び気候変動に係る会合に出席した。(27日付UN)

【経済】

1 中国 CCOIC 副会長によるガボン訪問

9月29日、ボンゴ大統領はYihua グループ代表であるLiu Shaoxi 中国国際商工会議所

(CCOIC) 副会長と会談し、森林及びインフラ分野でのプロジェクトについて協議を行った。今次訪問は不動産、郊外整備、社会インフラ設備等のプロジェクトの実現・加速化を目的としており、9月29日にはリーブルビル市長との間で協議が行われた。(2日付UN)

2 ガボン政府によるガソリン・軽油価格の値上げ

9月29日、ガボン政府はガソリン価格を580CFAフランから590CFAフランへ、軽油価格を510CFAフランから520CFAフランへ引上げることを決定した。(1日付GR)

3 Bouygues 社のガボン撤退

3日、市況悪化を理由に、Bouygues はガボンからの撤退を決定した。(3日付GR, 6日付UN)

4 2018年政府予算案の提出・採択

12日、閣議において総額2兆6,888億CFAフランの2018年政府予算案が採択された。前年比から1,712億CFAフラン減となる同予算は、本年6月にIMFとガボン政府の間で署名された合意及び経済再建計画(PRE)に基づいている。(3日付UN)

5 新オウエンド港開港式の開催

14日、新オウエンド港開港式がボンゴ大統領臨席の下開催された。同港は、リーブルビルの港湾施設能力を倍増させるほか、貨物取扱料の25%値下げにより物価高の解消が期待される。また、同港の開港により、リーブルビルは大西洋における貿易の主要な中継地となり、ガボン経済の競争力を高めることが期待される。18か月、1,810億CFAフランをかけて建設された新港は、官民協力の枠組みで、ガボン政府とオラム・インターナショナル、アフリカ・ファイナンス・コーポレーション社が関与した。(14日付UN)

6 ガボン国債の格付け「B」(フィッチ・レーティングス)

フィッチ・レーティングスは、国債の増加を理由に、ガボンをB+からBに格下げした。(15日付GR)

7 Maurel&Prom: 2017年第3四半期決算発表

Maurel&Promは油価の上昇、生産量の増加を理由に、2017年第3四半期決算が、前年比14%増の2億5,800万ユーロを記録した旨発表した。(24日GR)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコ・ノール紙)